

## 基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 27 年 2 月 1 日

設置・運営主体	埼玉県三郷市		
設置主体	埼玉県三郷市		
経営主体	株式会社コビーアンドアソシエイツ		
事業所名 (施設名)	三郷市立戸ヶ崎東保育所	種別	保育所
所在地	〒 341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎3-227		
電 話	048-955-2311		
FAX	048-948-1030		
Email	<a href="mailto:togasaki@coby.co.jp">togasaki@coby.co.jp</a>		
U R L	<a href="http://www.coby.jp">www.coby.jp</a>		
施設長氏名	安藤 博子		
調査対応担当者	安藤 博子 (所属、職名：三郷市立戸ヶ崎東保育所 所長)		
利用定員	131 名	開設年	昭和 50 年 9 月 1 日
理念・基本方針	<p>一人ひとりの子どもが大切にされる保育所を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●丈夫な身体をつくる</li> <li>●意欲を持つ子ども</li> <li>●思いやりのある子ども</li> </ul> <p>を育てて行きます。</p> <p>■また、さまざまな体験を通して、豊かな感性を育て、創造性の芽生えを培うよう努め‘成長しようとする力’を発揮しながら、同年齢、または異年齢の友だちと関わりながら、楽しく心地よい生活が送れるようにしています。</p> <p>■お家の人や地域の人たちが保育に参加する機会を広げながら、共に子育てをしていきます。</p>		
開所時間 (通所施設のみ)	7 : 00~19 : 00		

【利用者の状況に関する事項】

○成人施設の場合（老人福祉サービスを除く）

18歳未満	18～20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満
名	名	名	名	名	名
40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満	55～60歳未満	60～65歳未満	65歳以上
名	名	名	名	名	名
					合 計
					名

○老人福祉サービスの場合

60歳未満	60～65歳未満	65～70歳未満	70～75歳未満	75～80歳未満	80～85歳未満
名	名	名	名	名	名
85～90歳未満	90～95歳未満	95歳以上	合 計		
名	名	名	名		

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	12	12	1		
1歳児	20	20	1		
2歳児	24	24	1		
3歳児	25	25	1		
4歳児	25	25	1		
5歳児	25	24	1		
計	131	130	6	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○障害等の状況（保育所を除く）

・身体障害（障害者手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

障害区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
視覚障害	名	名	名	名	名	名	名
聴覚又は平衡機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
音声・言語、そしゃく機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
肢体不自由	名	名	名	名	名	名	名
内部障害（心臓・腎臓、ぼうこう他）	名	名	名	名	名	名	名
重複障害（別掲）	名	名	名	名	名	名	名
合 計	名	名	名	名	名	名	名

※区分が異なる複数障害で等級の認定がなされている場合は「重複障害」に記入ください。

・知的障害（療育手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

A ※	B	C
名	名	名

※「A」には丸付きのAを含む。

・精神障害（精神障害者保健福祉手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

精神疾患の区分	1級	2級	3級
統合失調症	名	名	名
そううつ病	名	名	名
非定型精神病	名	名	名
てんかん	名	名	名
中毒精神病	名	名	名
器質精神病	名	名	名
その他の精神疾患	名	名	名
合 計	名	名	名

○要介護区分の状況（介護保険対象サービス事業所のみご記入ください。）

自立・要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
名	名	名	名	名	名

○サービス利用期間の状況（保育所を除く）

～6か月未満	6か月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年
名	名	名	名	名	名
5年～6年	6年～7年	7年～8年	8年～9年	9年～10年	10年～11年
名	名	名	名	名	名
11年～12年	12年～13年	13年～14年	14年～15年	15年～16年	16年～17年
名	名	名	名	名	名
17年～18年	18年～19年	19年～20年	20年以上		
名	名	名	名		

（平均利用期間： ）

【職員の状況に関する事項】

○成人施設の場合

	総数	施設長	事務員	主任指導員	指導員
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名
	主任介護職員	介護職員	保育士	看護師	OT、PT
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名
	栄養士	介助員	調理員等	医師	その他
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名

社会福祉士	名（ 名）
介護福祉士	名（ 名）
保育士	名（ 名）
	名（ 名）
	名（ 名）

（非常勤職員の有資格者数は（ ）に記入）

○保育所の場合

常勤職員数		22 人	
うち	保育士	18人	保健師・看護師 人
	栄養士・調理員	4人	その他 ( ) 人
非常勤職員数		1 人	(常勤換算 人)
うち	保育士	人	(常勤換算 人)
	保健師・看護師	人	(常勤換算 人)
	栄養士・調理員	人	(常勤換算 人)
	その他 ( 用務員 )	1 人	(常勤換算 人)
<p>(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。</p>			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 5 人	非常勤： 人
	退職	常勤： 2 人	非常勤： 人
(3) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均年齢		歳 ( 32 歳)	
(4) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均在職年数		年 ( 3.8 年)	
<p>(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。</p>			

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所を除く)

(例) 救護施設における通所事業 (定員 5 名)

--

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	1回100円
休日保育		
障害児保育	○	—
一時保育		
地域子育て支援センター		
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)		
アレルギー等対応給食	○	—
その他(事業名: 地域子育て支援活動)	○	

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

### 【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 26 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

4 人

・ボランティアの業務

子どもといっしょに遊んだり、保育士のお手伝いをさせていただきます。

### 【実習生の受け入れ】

・平成 26 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 0 人

介護福祉士 0 人

その他 0 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○成人施設の場合

(1) 建物面積	m <sup>2</sup>	
	入所(通所)者1人あたり	m <sup>2</sup> (延べ床面積÷定員)
(2) 居室数 (入所施設の場合)	個室	室
	2人部屋	室
	3人部屋	室
	4人部屋	室
	5人以上の部屋	室
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	年
(5) 主な設備		

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	632.56 m <sup>2</sup>	
	児童1人あたり	4.8 m <sup>2</sup> (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	756 m <sup>2</sup>	
	児童1人あたり	5.7 m <sup>2</sup> (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	昭和	50年

## 【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・運動会、発表会などの行事の後に保護者に対してアンケートを行っています。
- ・保護者との個人面談を設けて個人的にも意見を聞けるようにしています。
- ・保育参観、懇談会を行い、声を聞かせてもらう機会を設けています。
- ・登降所時は、所長が積極的に保護者に声掛けをし、保護者とのコミュニケーションをはかり、育児相談を受けるなど話しやすい雰囲気作りを心がけています。
- ・登所時、お迎え時には、全職員が一人ひとりの状況を把握し、個別の今日の様子や日常の様子を保護者にお伝えしています。
- ・こだわり食材の日には試食を提供し、リラックスした雰囲気の中で保護者とのコミュニケーションを持つ機会を設け、育児相談を受けたり、子どもの様子についての情報共有を行っています。
- ・夏場を実施しているコピーカフェでは、お迎え前のひとときに冷たい飲み物をご用意し、リラックスした雰囲気の中で保護者とのコミュニケーションを持てる場として活用しています。

## 【その他特記事項】

- ・異年齢児交流保育を積極的に取り入れています。行事や自由遊びの時間を中心に、年長児にはリーダーシップや思いやり、やさしさを育み、年少児には年長児に対する憧れを喚起することで成長を促す保育を行っています。
- ・毎月複数回の行事を展開しており、子どもたちの日常を彩っています。特に運動会や発表会では、子どもを成長させる機会と位置付け、大きな達成感を演出し、自信につなげています。
- ・4、5歳児を対象に協調性や瞬発性やバランス感覚を養うために、元J1選手を含む会社の専属コーチによるサッカー保育を行っています。
- ・様々な食育へのアプローチがあります。食育菜園やクッキング保育のほか、こだわり食材の日には厳選した素材を厳選した方法で味わい、舌の記憶を作る取り組みとなっています。また、食育の基本は「おいしい」という体験と考え、法人調理部の総料理長に元シティホテルの総料理長を据え、調理部門全体の技術向上を図っています。食器も、陶器やガラス、木製を使用しています。
- ・日本古来の行事を取り入れ、関心を持てるようにしています。また西洋のハロウィンやクリスマスなど行事も盛んで、イルミネーションや雰囲気を楽しめる。
- ・職員は社内外の研修に参加し研鑽をつむほか、委員会活動として、窓に季節感を取り込んだ装飾を飾る室内環境委員、運動機能を高めるための遊びの提供を考える体育委員会、園だより、写真委員会などに参加し、保育技術の向上に努めています。
- ・保護者との多彩なコミュニケーションを実践しています。直接的なコミュニケーション以外にも、

## 【第三者評価の受審状況】

- ・受審回数（前回の受審時期）

\_\_\_\_\_ 回 （平成 \_\_\_\_\_ 年度）